



日本病理学会



— 病理組織検体を用いたゲノム等オミックス解析研究を  
行うための、検体取扱いに関する講習会 —

# 第15回 ゲノム病理 標準化講習会

会期 2026/7/1 水 10:00 - 7/31 金 23:59

受講方法 オンデマンド配信

参加費 医師・歯科医師、アカデミア・企業の研究者等 ¥12,000  
検査技師、大学院生、学部学生 ¥5,000

日本病理学会非会員の方もご参加いただけます

- ★ アカデミア・企業等で病理組織検体を用いた研究に携わっている方、  
またはこれから従事される方
- ★ バイオバンク等で実務を  
担当されている方
- ★ 臨床検査技師などで病理  
組織検体の品質管理にご興味のある方



## テキスト・ハンドアウトについて

テキスト（「ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程第2版」）とハンドアウトは、オンデマンド配信ページより事前にダウンロードしてご使用ください。

受講申し込み受付はWEBにて

■ 受付期間 ■

4月24日（金）13時～7月25日（土）

詳細はこちらから <https://www.pathology.or.jp/news/members/seminar/genome-seminar20260701-31.html>



プログラム

### 1. 本講習の目的

ゲノム研究基盤整備における病理の役割（冒頭挨拶にかえて） . . . . . 慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄

### 2. 講義

- 1) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第1部の解説：研究用病理組織検体の適切な採取部位」  
. . . . . 九州大学医学部医学研究院 形態機能病理学 小田義直
- 2) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第2部の解説：凍結組織検体採取・保管・移送方法」  
. . . . . 慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄
- 3) ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第3部の解説：ホルマリン固定パラフィン包埋標本の適切な作製・保管方法」  
. . . . . 慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄
- 4) 病院病理診断部における研究用病理組織検体収集・管理の実際 . . . . . 九州がんセンター 病理診断科 田口健一
- 5) 病理組織検体を収納する研究のためのバイオバンクの構築 . . . . . 神奈川県立がんセンター 臨床研究所 宮城洋平
- 6) 病理組織検体を用いた分子病理学的解析手技の実際  
. . . . . 国立がん研究センター 先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野 加藤洋人
- 7) 病理組織検体を用いたがん多層オミックス研究の実際 . . . . . 慶應義塾大学医学部 病理学教室 新井恵更
- 8) 認定病理検査技師の役割 . . . . . 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 小松京子

問い合わせ先：日本病理学会事務局 [jsp.office@pathology.or.jp](mailto:jsp.office@pathology.or.jp)